

令和5年度第1回京都市明るい選挙推進協議会総会（摘録）

1 日 時 令和5年5月23日（火）午前10時から11時45分

2 場 所 京都市役所本庁舎1階 第3会議室

3 出席者

（1）委員

立命館大学名誉教授	村 山 皓
同志社大学教授	西 澤 由 隆
ジャーナリスト	村 上 祐 子
京都新聞社論説委員	布 部 拓 男
日本放送協会京都放送局コンテンツセンター長	日比野 和 雅
市民公募委員	中 田 浩 羽

（2）事務局

京都市選挙管理委員会事務局長	松 浦 卓 也
〃 啓発係長	後 藤 高 明
〃 啓発係員	浅 井 優 佑

4 摘 録

（1）挨拶

（2）委員及び事務局の自己紹介

（3）協議

○第32期京都市明るい選挙推進協議会会長の選任について

布部委員より、会長に村山委員が推薦され、出席委員の全会一致で、村山委員の会長就任が承諾された。

○第32期京都市明るい選挙推進協議会副会長の指名について

村山会長より、副会長に西澤委員と布部委員が指名され、両委員が承諾された。

○令和5年度京都市明るい選挙推進事業計画について

○令和4年度京都市明るい選挙推進事業の実施結果について

事 務 局：資料（「令和5年度京都市明るい選挙推進事業計画」及び「令和4年度京都市明るい選挙推進事業実施状況報告書」）に基づき説明

委 員：委員に学生祭典実行委員会の方がいるが、学生祭典の場での啓発は何か考えているのか。

事務局：これまでも学生祭典の開催日にブースの出展させていただくなどご協力いただいている。ここ数年間は、新型コロナウイルスの影響で出展できていなかったが、5類に移行されたこともあるので、引き続き学生祭典とは何らかの形で協働していきたい。

委員：コロナ禍を契機に新たに取り組んだことはあるか。

事務局：Web 会議ツールの配備状況等により実現まではいかなかったが、オンラインの出前授業を検討していた。

委員：例えば、市内の学校をつないで一斉にオンライン授業ということも可能かもしれない。このせっかく生まれたツールを今後も活かしてほしい。

委員：京都市は大学のまちであり、学生祭典やU-35 といった団体もあるなど、近隣の他都市と比べても新しい取り組みが出てくる可能性がある。事務局がオンラインの出前授業を挙げられていたが、これまでとは違う取り組みも進めていくタイミングなのかなと思う。何を啓発するのかという観点も大切である。選挙期日の周知と政治そのものの中身の周知があると思うが、その2つを切り離してはいけないと思う。

委員：他の委員も仰っていたが、政治そのものに興味があって初めて投票率向上にも繋がってくると思うので、選挙期日の周知と政治そのものの周知はセットで行うのが大切だと思う。

委員：その啓発に効果があったのかという効果測定も非常に大切な観点である。測定が難しいことは承知しているが、市長選挙時の啓発には何か取り組んで欲しい。

○その他

令和5年度の「論文コンクール「わたしはこう考える」」審査員を布部副会長と村上委員、「明るい選挙をすすめるポスター募集」審査員を布部副会長に依頼し、両委員の承諾を得た。

(4) 松浦事務局長 挨拶

(11:45 終了)